

スロットルスティックをラチェット式へ改造する場合

本製品に付属のT6Kは、モーターなどのパワーをコントロールするスロットルスティックが、セルフニュートラル式になっています。

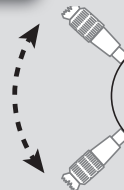
セルフニュートラル式スティック（初期状態）

指をはなすとスロットルスティックがスプリングでニュートラルにもどります。

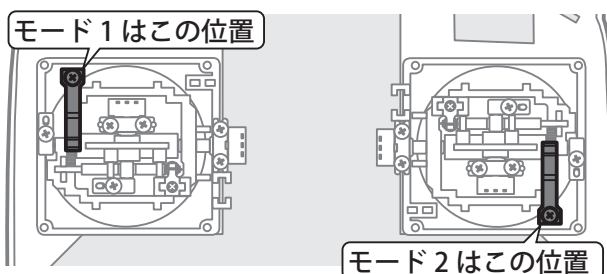


ラチェット式スティック

この改造で指をはなした位置にスティックがとまるとなります。



下の説明1の裏ケースをはずした状態
スティックモード1,2で、ラチェット板の取付位置は下図のようになります。



2種類のラチェット板が付属しています。



主に飛行機を飛行させる場合に使用。




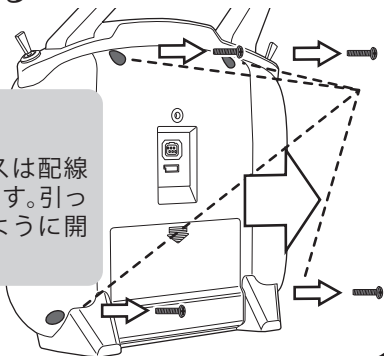
主にヘリコプターを飛行させる場合に使用。



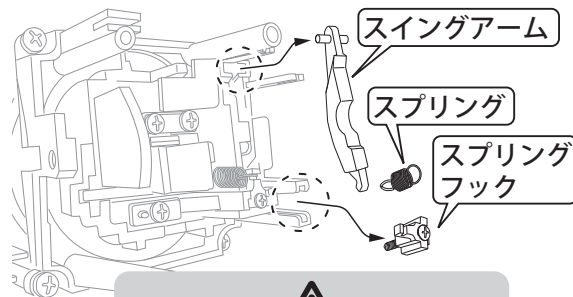
作業前に、必ず電池ボックスを送信機から取りはずしてください。

- 1** 裏ケースのねじ4本をプラスドライバーではずし、裏ケースを開ける

 表と裏のケースは配線で繋がっています。引っ張りすぎないように開けてください。

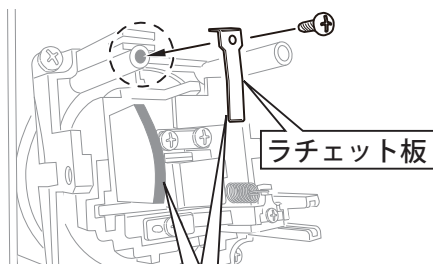


- 2** スイングアーム、スプリングとスプリングフックをはずす



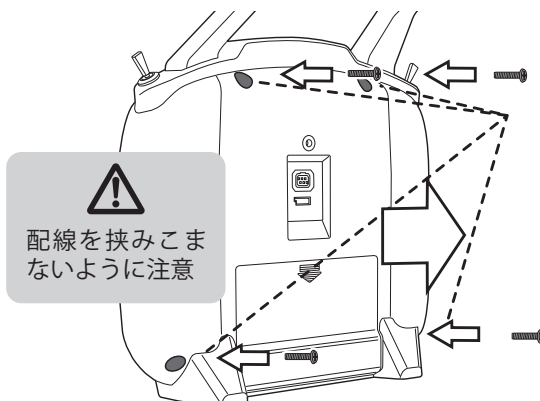
 配線を傷つけないように注意


- 3** ラチェット板をプラスドライバーで取付ける



接触部分に別売のサーボグリスを少量塗る（はずしたスイングアーム等に付着しているグリスでも良い）

- 4** ねじ4本で裏ケースを取付ける



 配線を挟みこまないように注意